

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		桜川市スキー教室事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020401000072	
						単独/補助	単独		090501	
政策体系	総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興				所属課		スポーツ振興課	
	政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				課長名			
	施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				グループ		スポーツ振興G	
	手段名		01 ①スポーツをする機会の充実				担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	07	01	02	00	保健体育総務事業			
法令根拠							単年度繰返し (昭和60年度~) 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) ・冬のスポーツに接する機会の少ない市内の小学生 (1~3年生は親子) を対象に、冬季における運動不足の解消や、冬季スポーツの促進、また、スキーの基本技術の習得等を目的に実施している。インストラクターは、市内のスキー連盟の方々を中心となり教室を開催している。 ・実行委員会を立ち上げ、参加者より参加費を徴収 (大人/6,500円、子供/6,000円:板・ウェア等のレンタル料は別途) し、事業を行っている。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 参加者募集、スキー場予約、桜川市スキー連盟協力依頼、参加者取りまとめ、使用バスの契約、当日資料作成、教室随行、決算書作成等

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
参加者募集、スキー場予約、桜川市スキー連盟協力依頼、参加者取りまとめ、使用バスの契約、当日資料作成、教室随行、決算書作成等	事業回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
市内小学生 (1~3年生は親子)	市内小学生 (1~3年生は親子)	人	1,992.00	1,914.00	1,914.00	1,914.00	1,914.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
冬季におけるスポーツ活動の普及、また、冬季の運動不足の解消	スキー教室参加者	人	115.00	103.00	120.00	120.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	469	554	629	0
	事業費計 (A)	千円	469	554	629	0
	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	08 報償費	75		08 報償費
14 使用料及び賃借料	479		14 使用料及び賃借料	479
	合計	554	合計	629

事務事業名	桜川市スキー教室事業	事務事業No.	20401000072	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併前の3町村で約30年ほど前から行っており、平成22年度までは、旧3町村単位で各々実施していたが、平成23年度から一本化して桜川市スキー教室として開催している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 参加費も安く、企画も充実しているため、是非継続してほしいとの意見が多く寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	冬季におけるスキースポーツの実施により、スポーツをする機会を設けることは、生涯スポーツ活動の振興に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	参加者がその活動により、上記の意図や結果を生んでいく契機となっている。運動に対して消極的になりがちな冬季において、小学生限定ではあるが、市民を対象としたスポーツ環境を創るということで妥当である。
有 効 性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	スキー教室に参加した方々の意見としては、とても楽しく実施できたとの声を多数いただいたが、参加者数や日程に限りがあるので向上余地は少ないと思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	安易に始められないスポーツであるので、廃止・休止すると冬季における市民スポーツの機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業は特にない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	近年、バス借上げ代が値上げになっている。その分負担金を上げた経緯があることから、削減余地はない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	バス借上げ・講師謝礼以外の経費は参加者負担となっているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成28年度より、より充実した教室を開催するため、募集人員を120名とし、現地のインストラクターを増やした。また、バス借上げ代の値上げのため負担金を値上げすることとなった。今後も参加者からの意見や要望を取り入れ、より良い事業にしていきたい。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○					X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
		○																			
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>